

長期交換留学レポート

能動的に行動し 積極性が身に付いた

才津真稀僊さん（経営3）は令和5年度長期交換留学生としてオレゴン大学（米国）に約10カ月間留学。現地ではビジネス関連の科目を履修し、優秀な成績を修め、2024年 Winter Term で Dean's List（大学で選出される成績優秀者）にも選ばれました。今回は、そんな才津さんに、オレゴン大学での留学生活について語っていただきました。



留学しようと思ったきっかけは

留学を決めたきっかけは、過去の語学留学にあります。高校1年の時にオーストラリアへ短期留学をした際、英語力の重要性を実感し、留学を通じて国際的な視野を広げておくことが将来のキャリアにおいて重要だと感じました。また、憧れの経営者であるナイキの創業者フィル・ナイトが卒業したオレゴン大学への憧れも大きな要因です。将来、国際的に活躍するために留学をすると強く決意しました。

留学中に苦労したことは

最も苦労したのは言葉の壁です。最初の数カ月は授業やクラスメイトについていくのがやっとで、コミュニケーションも難しい場面がありました。しかし、友人や教授に積極的に話しかけ、毎日人と関わることを心がけた結果、言語力が向上し、多くの友人ができました。最終的には、Dean's List（成績優秀者リスト）に載りました。この経験から、小さなことを積み上げる忍耐力と様々な場面への適応能力を得ました。

留学して成長したと思うことは

留学して、自分は180度変化したと実感しています。日本にいる時は受け身であることが多く、消極的な人間だったと思います。しかし、アメリカでは「意見をはっきり言わないと通じない」「能動的に行動しない限り、何も成長しない」と痛感しました。その結果、自分に軸を持って行動と発言に責任を持つことの重要性を学びました。能動的に行動し、自分の軸を持てるようになったことが成長できたことです。

今後の目標は

今後の目標は、留学で得た経験を生かして国際的にビジネスの分野で活躍することです。具体的には、多国籍間でのプロジェクトマネジメントやコンサルタントに携わりたいと考えています。また、日本の文化を世界に拡散し、世界の文化を日本へ集約する土台となっていきたいと思っています。

世界中の多くの人々が、多様な文化に触れて夢を持てることを目指しています！

留学を目指す人にメッセージ

留学は自分の可能性を広げる絶好の機会です。自分を成長させたい、新しいことにチャレンジしたい、多国籍の友達が欲しい。何でも結構です！もし、留学に行きたいという思いがあるならば、留学をして欲しいです。

皆さんの意志ある挑戦が、新たな価値を生み出すことになると思います。努力を惜しまず、挑戦を楽しんでください。素晴らしい経験が、必ず待っています。

専修大学ホームページ
長期交換留学
プログラム



国際交流センター
公式 YouTube
チャンネル



国際交流センター
Instagram
@senshuworld

